

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【乳児保育】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①	乳児保育の意義	2時間20分	<ul style="list-style-type: none"> ・保育をめぐる動向・乳児保育の特徴（ワークを含む） ・乳児保育の特徴（ワークを含む） ・乳児保育で大切にしたいこと ※終了後に小テストを実施	大阪大谷大学 教育学部 教育学科 教授 長瀬 美子 氏
	④	乳児の発達に応じた保育内容	3時間20分	<ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の発達特性への理解 ・乳児保育の生活 ・主体的で手ごたえのある遊び（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	
	②	乳児保育の環境	3時間20分	<ul style="list-style-type: none"> ・見慣れた保育環境を見直すことから（ワークを含む） ・何を重視して考えるか ・自ら取り組める快適な生活環境 ・遊びや活動が促される環境 ・人的環境としての保育者 ※終了後に小テストを実施	
	③	乳児への適切な関わり	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児への適切な関わり（ワークを含む） ・安心できる見守りの中で、他者との信頼関係の基礎を作る ・乳児保育と連携 ・1歳児の食事で気になること（ワークを含む） ・保育生活全体の中で食事を捉える・食事指導にあたって ・食事における気になる姿に対して、保護者と共に ※終了後に小テストを実施	
	⑤	乳児保育の指導計画、記録及び評価	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・保育における「指導計画」の位置づけ ・計画の種類と指導計画の考え方 ・保育における振り返り ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①	幼児教育の意義	1時間30分	・幼児教育の今後 ・待機児童の解決方法 ※終了後に小テストを実施	鎌倉女子大学 児童学部 児童学科 准教授 浅井 拓久也 氏
	②	幼児教育の環境	4時間30分	・保育所保育指針等それぞれの特徴 ・課題を抱える家庭環境下にある子どもへの対応 ・3法令改定のポイント（ワークを含む） ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（ワークを含む） ・保育内容の変更点 ・子どもの主体性を伸ばすためには ※終了後に小テストを実施	
	③	幼児の発達に応じた保育内容	2時間	・発達過程と発達の原理 ・イヤイヤ期の子どもの対応とは ※終了後に小テストを実施	
	④	幼児教育の指導計画、記録及び評価	4時間30分	・保育の計画 ・園の保育記録（ワークを含む） ・ドキュメンテーションの作成、活用方法 ・問題解決思考 ・何をどのように測定するのか ※終了後に小テストを実施	
	⑤	小学校との接続	2時間30分	・小学校との接続・連携とは ・要録の書き方 ・まとめ ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【障害児保育】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①	障害の理解	2時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・障害についての考え方 ・障害に関する法律 ・肢体不自由について ・視覚障害について ・聴覚障害について ・病弱・身体虚弱・医療的ケア児について ・てんかんについて ・ダウン症について ※終了後に小テストを実施	九州龍谷短期大学 保育学科 教授 鬼塚 良太郎
	②	障害児保育の環境	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の保持及び情緒の安定 ・わかりやすい環境作り ・基本生活習慣 ・集団生活における他児とのかかわり（ワークを含む） ・自己肯定と二次障害 ・障害児保育の現状と課題 ※終了後に小テストを実施	
	③	障害児の発達と援助	3時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的判断基準 ・自閉スペクトラム症 ・こだわりの考え方と対応 ・感覚過敏について ・注意欠如多動症について ・発達協調運動症・限局性学習症について ※終了後に小テストを実施	
	④	家庭及び関係機関との連携	5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の現状 ・発達障害と虐待 ・保護者の心理 ・保護者支援の方法 ・カウンセリングの基礎知識 ・他機関との連携 ※終了後に小テストを実施	
	⑤	障害児保育の指導計画、記録及び評価	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画 ・日常生活場面におけるアセスメント ・支援の必要性和考え方 ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【食育・アレルギー対応】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①	栄養に関する基礎知識	1時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能 ・食事摂取基準と発達過程における保育士等の関わり ※終了後に小テストを実施	帝塚山大学 現代生活学部 現代生活学科 教授 岩橋 明子 氏
	④	保育所における食事の提供ガイドライン	2時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所における食事の提供ガイドラインの理解 ・食事の提供における質の向上 ・衛生管理の理解と対応 ※終了後に小テストを実施	
	②	食育計画の作成と活用計画の作成と活用	4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・第四次食育推進基本計画について（ワークを含む） ・食育の理解と計画の作成および評価の方法（PDCAサイクルの活用） ・食育のための環境（他職種との協働） ・食生活指導および食を通じた保護者支援 ※終了後に小テストを実施	
	③	アレルギー疾患の理解	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患の理解 ・食物アレルギーの理解 ・食物アレルギーのある子どもへの対応 ※終了後に小テストを実施	皇學館大学 教育学部 教育学科 教授 駒田 聡子 氏
	⑤	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・エピペンの知識習得と実践演習 ・緊急時の対応法と医療機関との連携について ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①	保健計画の作成と活用	3時間20分	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画の目的（ワークを含む） ・子どもの成長・発達の理解 ・個別的配慮を必要とする子どもへの対応 ※終了後に小テストを実施	中村学園大学短期大学部 幼児保育学科 講師 山下 雅佳実 氏
	②	事故防止及び健康安全管理	4時間20分	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事故の特徴と発生時の対応 ・安全管理と事故防止及び再発防止の為の組織的取り組み ・災害への備えと危機管理 ・健康管理と体調不良が生じた場合の対応 ・多職種との連携・協働（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	
	⑤	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	3時間20分	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン ・事故発生時の対応（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	
	③	保育所における感染症対策ガイドライン	3時間30分	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関する基礎知識 ・子どもに見られる主な感染症 ・衛生管理と感染症発生時の対応（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	
	④	保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・血液を介して感染する病気とその予防・予防接種の重要性 ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【保護者支援・子育て支援】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①	保護者支援・子育て支援の意義	3時間20分	・保育所保育指針における、保護者支援・子育て支援の考え方（ワークを含む） ・保護者支援・子育て支援の役割と機能（ワークを含む） ・保護者支援・子育て支援の現状と課題（ワークを含む） ・保育所の特性を活かした保護者に対する子育て支援（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	九州ルーテル学院大学 人文学部 人文学科 教授 永野 典詞 氏
	②	保護者に対する相談援助	2時間40分	・保護者との信頼関係と連携（ワークを含む） ・相談支援に対する相談援助の方法と技術（ワークを含む） ・支援の視点とポイント（ワークを含む） ・子育て支援における保護者への対応のポイント（ワークを含む） ・保護者に対する相談援助の計画、記録及び評価（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	
	③	地域における子育て支援	2時間	・地域の子育て家庭への支援（ワークを含む） ・地域の子育て支援に係る社会資源（ワークを含む） ・地域子育て家庭に対する支援の実際（ワークを含む） ・地域の保護者に対する相談の実際 ※終了後に小テストを実施	
	④	虐待防止	3時間	・児童虐待防止法の理解と対応上の基本的考え方（ワークを含む） ・児童虐待の現状の理解（ワークを含む） ・児童虐待予防への取り組みについて（ワークを含む） ・早期発見時のポイントと発生時の対応（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	
	⑤	関係機関との連携、地域資源の活用	4時間	・専門職や関係機関との連携（ワークを含む） ・地域資源の活用と実際（ワークを含む） ・子どもの貧困に関する対応（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【マネジメント】（定員100名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	②	リーダーシップ	2時間30分	・リーダーシップの役割と魅力・在り方（ワークを含む） ・ペーシング ※終了後に小テストを実施	合同会社ウメハナチャイルドケア コミュニケーションズ 代表 松原 美里 氏
	①	マネジメントの理解	1時間20分	・マネジメントとは（ワークを含む） ・変化の中で、子どもの未来を照らす園戦略 ・関係法令、制度及び保育指針についての理解 ・他専門職との連携・協働と園を支える資源 ・マインドマップ ※終了後に小テストを実施	
	③	組織目標の設定設定	4時間30分	・組織目標と計画の設定（ワークを含む） ・園の中での自身のキャリアを考える ・リスクマネジメント ・災害 ※終了後に小テストを実施	
	④	人材育成	2時間20分	・職員育成の4つのアプローチ ・相手に伝わりやすい伝え方 ・リーダー必要な10の能力 ・先輩・上司との関わり方（ワークを含む） ・先輩・上司へ伝えるさいの工夫 ・キャリアパス制度について ・実習生について ※終了後に小テストを実施	
	⑤	働きやすい環境づくり	4時間20分	・働きやすい職場づくり ・多様性を尊重し合える柔軟な組織へ ・ハラスメントのない職場 ・ICTの活用 ・保育の質のマネジメント（ワークを含む） ※終了後に小テストを実施	

令和7年度兵庫県保育士等キャリアアップ研修【保育実践】（定員50名）

実施日時及び視聴期間	研修項目		時間数	研修の具体的内容	講師氏名
【eラーニング研修】 ○視聴期間 令和8年1月19日（月） ～ 令和8年3月10日（火）	①・②	保育における環境構成、子どもとの関わり方①	3時間15分	<乳児の環境構成①> ・保育環境づくりの基本的な配慮点（ワークを含む） ・子どもの感性を養うための環境構成と保育の展開	社会福祉法人子どものアトリエ 城東よつばこども園 理事長
	④	言葉・音楽を使った遊び	3時間20分	<保育と絵本> ・保育に絵本を取り入れることの大切さ ・発達に道すじにそった絵本の選び方 <わらべうた> ・発達にそったわらべうたの遊びと実践 ・わらべうたの大切さについて ※終了後に小テストを実施	
	③	身体を使った遊び	1時間	<運動遊びの理解と実践> ・発達の道すじにそった運動遊びのポイント ・運動遊びの理論と実践 ※終了後に小テストを実施	
	①・②	保育における環境構成、子どもとの関わり方②	3時間15分	<幼児の環境構成①> ・幼児の発達に応じた遊び ・幼児クラスの保育環境構成	大阪芸術大学短期大学部 保育学科 教授 瀧 薫 氏
	⑤	物を使った遊び	2時間	<ルールのある遊び> ・幼児の保育環境としてのおもちゃの理解と実践 <積み木遊び> ・保育環境に適した積み木の選び方、遊び方 ・個々の積み木遊び 集団の積み木遊び ※終了後に小テストを実施	
	①・②	保育における環境構成、子どもとの関わり方③	2時間10分	<乳児との関わり方> ・子どもの発達に応じた援助方法に関する実践方法 ・一人一人の発達を支援するための保育実践のあり方 <幼児との関わり方> ・5領域にそった幼児の遊びと実践方法 ・主体的な遊びが広がる保育環境の構成と支援の実際 ※終了後に小テストを実施	